

令和 6 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	杉山
全体計画					経費区分	—			内線	3630		
事務事業名		4308 公民館管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	010000 公民館管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
公民館は、学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。公民館の施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。 また、施設修繕やLED照明の導入、ガス器具の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行い、維持管理費の長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。全地域公民館で冷暖房等使用料の実費徴収を実施している。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。全地域公民館で冷暖房等使用料の実費徴収を実施している。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数					
算式						単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000
	実績			145,002		
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ					
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値に対して20%の増を目標					
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		16,207	19,500
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,585	1,332
一般財源		14,622	18,168
人員数 (人)	正規職員	0.3	0.6
	会計年度(フル)	0.6	0.6
	会計年度(パート)	1.6	1.6
人 員 コスト	正規職員	2,111.1	4,222.2
	会計年度(フル)	2,148.6	2,148.6
	会計年度(パート)	2,830.4	2,830.4
	計	7,090.1	9,201.2
市民一人当たりの経費		0.4	0.5
総額		23,297.1	28,701.2

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	9,906	消耗品費279、燃料費520、光熱水費5,439、修繕料3,668
12節 委託費	1,031	清掃業務330、自動扉保守77、電気保安263、樹木伐採300、害虫駆除9、シルバー管理52
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	7	会議等出席負担金7
その他	5,263	報酬652、旅費47、役務費1,527、使用料及び賃借料2,182、原材料70、備品785

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	10,511	消耗品費1,040、燃料費315、光熱水費6,356、修繕料2,800
12節 委託費	2,060	清掃業務220、自動扉保守80、電気保安280、樹木伐採1,180、シルバー管理300
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	30	防火管理者講習会受講負担金30
その他	6,899	報酬689、旅費50、役務費1,904、使用料及び賃借料2,917、原材料80、備品1,250、公課費9

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	地域公民館は市民にとって最も身近な公共施設であり、生活圏域内の住民同士が交流を図る拠点としても維持を継続していく日露がある。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	社会教育施設としてだけでなく、住民同士の交流を深められるよう維持管理に努めていく。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	やや悪化
評価コメント	老朽化した施設の維持管理のための修繕料や、事業に必要な備品等の管理のため、今後も必要経費の増加が見込まれる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

アフターコロナにおいて施設の利用機会は活発化してきたが、経年劣化による修繕の増加や価格上昇に伴う光熱水費の増加が顕著である。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
団体や個人が生涯学習や社会教育を学ぶために拠点となる身近な公共施設として施設の維持管理に努める必要がある	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
社会教育拠点施設や市民の居場所づくり、また、災害時の避難施設として利用者の立場で施設環境の改善を図る必要がある	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	島田 明子
全体計画						経費区分	—			内線	3630	
事務事業名		4309 公民館活動事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	020000 公民館活動事業										
事業目的						事業概要・効果						
少子高齢化、情報化、国際化など社会環境が急速に変化する中、市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるための事業を推進する。						市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため、成人講座などの各種講座を開催する。また、事業推進にあたっては文化芸術協会、公民分館をはじめとした各種団体と連携を図ることも視野に入れる。 地域づくりを進めるには、住民自らが主体性を持ち活動することが求められる。公民館の講座や事業を通じて市民が得られる達成感や喜びが、市民共創の地域づくりへの力となることが期待できる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
・文化芸術講座等・他課との連携事業の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり ・組織改正に伴う事業等の再検討。	・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり	・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり	・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数					
算式						単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000
	実績			145,002		
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ					
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による受講者減を考慮					
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		82,015	95,344
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	74	0
一般財源		81,941	95,344
人員数 (人)	正規職員	1.4	0.7
	会計年度(フル)	8.7	7.7
	会計年度(パート)	11.1	11.1
人 員 コスト	正規職員	9,851.8	4,925.9
	会計年度(フル)	31,154.7	27,573.7
	会計年度(パート)	19,635.9	19,635.9
	計	60,642.4	52,135.5
市民一人当たりの経費		2.7	2.8
総額		142,657.4	147,479.5

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,769	講師謝礼1,769
10節 需用費	343	消耗品費291、食糧費52
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	12,453	公運協負担金132、公民分館交付金9,544、地域づくり交付金2,750 その他27
その他	67,450	報酬20,874 給料24,826 職員手当等10,671 共済費10,488 その他591

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2,530	講師謝礼2,500
10節 需用費	449	消耗品349、食糧費100
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	13,287	会議負担金287、公民分館交付金10,000、地域づくり交付金3,000
その他	79,078	報酬21,445 給料26,694 職員手当等17,857 共済費12,236 その他846

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	コロナ禍が明け、少しずつ事業が増え前年度より事業が増加してきている。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組んでいた。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	常にコスト削減に努めたい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍が明け、引き続き事業復活に努めていき、市民が生涯にわたり生きがいを求めていくことに応えるために事業を推進したい。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため、魅力ある成人講座などの各種講座を企画開催することが求められる。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
これまでの取組みを総括し、市民にとって身近に必要な社会教育事業を進め、気軽に利用でき、居場所づくりとなる事業の刷新が必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	杉山
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3630	
事務事業名		17217 公民館整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	030000 公民館整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域公民館の老朽化に伴う改修等						・公民館の設置は、社会教育法 21 条で市町村とされている。公民館は、今後も市民との共創や地域づくり等、地域振興の拠点施設として必要であり、維持改修を計画的に行う。 ・老朽化した照明のLED化を行い、灯具の発火抑止、電力消費量の軽減を図る。地域公民館等(南部)の照明器具LED化。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
	日野地域公民館及び旭ヶ丘ふれあいプラザ照明器具LED化工事、設計
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
南部地域公民館及び旧上高井郡役所照明器具LED化工事、設計	臥竜山公会堂及び生涯学習センター照明器具LED化工事、設計

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		10,716	5,867
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	9,300	5,300
	その他	0	0
一般財源		1,416	567
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		10,716.0	5,867.0

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	497	委託料497
14節 工事請負費	10,219	日野地域公民館工事請負費4,180、旭ヶ丘ふれあいプラザ工事請負費6,039
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	567	設計委託料567
14節 工事請負費	5,300	南部地域公民館照明器具ＬＥＤ化工事 5,300
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	省エネルギー化を推進するため、順次ＬＥＤ化を進めていく	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	ＬＥＤ化により光熱費のコスト削減、設備の長寿命化に寄与している。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	引き続き脱炭素化推進事業債等を活用していく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

日野地域公民館、旭ヶ丘ふれあいプラザについてＬＥＤ化による施設の長寿命化を図ることができた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
電気料の節減に寄与し、施設の長寿命化を図ることができた	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
施設の維持管理費の軽減を図ることは重要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	杉山
全体計画						経費区分	—			内線	3630	
事務事業名		4316 臥竜山公会堂管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費										
	事業	010000 臥竜山公会堂管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理に努めていく。						自然豊かな臥竜公園に位置することから、市民の憩いの場、交流の場として施設充実を図っていく。 老朽化が進行している大規模施設と広範な敷地について、適切な維持管理を行う。 抜本的見直し（指定管理の導入による経費縮小）の動向に注視しながら、維持管理に係る業務量を精査し、事業費への反映を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
利用者の利便性と安全を考慮した施設の適切な維持管理を実施した。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の適切な維持管理を実施した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。

指 標 名	臥竜山公会堂の延べ利用者数					
算 式						単位 人
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標	500	500	3,000	3,500	3,500
	実 績			1,513		
指標選定の理由	平成29年度3,062人、平成30年度4,086人、2019年度2,923人、2020年度203人を参考とした。					
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		6,163	4,213
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	106	250
一般財源		6,057	3,963
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.1
	会計年度(フル)	0.2	0.2
	会計年度(パート)	0.8	0.8
人 員 コスト	正規職員	0.0	703.7
	会計年度(フル)	716.2	716.2
	会計年度(パート)	1,415.2	1,415.2
	計	2,131.4	2,835.1
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		8,294.4	7,048.1

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	3,599	消耗品費1,721、燃料費49、光熱水費1,523、修繕料306
12節 委託費	85	支障木伐採委託料85
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,479	会計年度任用職員報酬1,520、職員手当316、共済費320、旅費26、役務費12、使用料及び賃借料25、原材料費30、備品購入費232

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,616	消耗品費71、燃料費60、光熱水費1,275、修繕費210
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,597	会計年度任用職員報酬1,637、職員手当480、共済費322、旅費27、役務費74、使用料及び賃借料27、原材料費30

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	広く市民に親しまれる公共施設として使いやすい環境整備を行う。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	様々な目的に使用できる公共施設として維持管理に努める	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	やや悪化
評価コメント	老朽化に伴う経年劣化により、今後も管理経費の増加が見込まれる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

維持管理のため必要な修繕を行うと共に、利用しやすい環境整備のため長机と椅子を購入した。今後も必要な修繕の増加が見込まれる。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
利用しやすいように畳の大広間に机と椅子を購入して、施設の利便性を高める努力をしているが、なかなか利用拡大に繋がっていない。花見シーズン以外の利用拡大を図る必要がある	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
公民館としての位置付けや在り方を検討する必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	杉山
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3630	
事務事業名		17685 臥竜山公会堂整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費										
	事業	980000 臥竜山公会堂整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
施設の老朽化に伴う改修等						臥竜山公会堂は、今後も市民が集う施設として維持改修を計画的に行う。 ・老朽化した照明のLED化を行い、灯具の発火抑止、電力消費量の軽減を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		0	0
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		0.0	0.0

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必 要 性	・ 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・ 行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・ 市が主体となり実施すべき事業か ・ 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・ 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	—
評 価 コメント		
有 効 性	・ 事業の成果は上がっているか ・ 目標に対する達成度は十分か ・ 市民生活上の課題解決に貢献しているか ・ 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・ 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	—
評 価 コメント		
効 率 性	・ 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・ 効率性向上に努めているか ・ 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	—
評 価 コメント		

振り返り（決算年度の取組み課題）

--

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	—	次年度以降の方向性	—
総合評価コメント		2次評価コメント	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	島田 明子
全体計画						経費区分	—			内線	3630	
事務事業名		4317 生涯学習推進事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100608 教育費・社会教育費・生涯学習推進費										
	事業	010000 生涯学習推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
・住民に分かりやすく楽しく学ぶイベントを、民間団体や学校とネットワークをつくり発信する。 ・地域学、地元学で地域の良さを活かす方法を探る。						●地域の優れた人材活用と、住民が楽しく学習できる講座を提供する。 ●須坂の自然・歴史・文化などの良さを地域住民に知っていただき、須坂が好きになる学習機会の提供。 ●地域を見直し、まちづくりにどう活かせるかを考え、行動できる人々をつなげて行く。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 ・組織の見直しによる事業や資源等の再検討。	・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携	・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携	・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携

指 標 名	出前講座の延べ受講者数					
算 式						単位 人
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標	3,000	4,000	5,000	6,000	8,000
	実 績			7,720		
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ。					
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による受講者減を考慮					
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		13,598	15,987
特 定 財 源	国庫支出金	995	1,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	14	95
一般財源		12,589	14,892
人員数 (人)	正規職員	3.3	3.1
	会計年度(フル)	1.0	1.0
	会計年度(パート)	1.0	1.0
人 員 コスト	正規職員	23,222.1	21,814.7
	会計年度(フル)	3,581.0	3,581.0
	会計年度(パート)	1,769.0	1,769.0
	計	28,572.1	27,164.7
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		42,170.1	43,151.7

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,284	講師謝礼392、謝礼388、記念品代504
10節 需用費	1,777	消耗品費918、食料費27、印刷製本費832
12節 委託費	2,379	成人式インターネット同時配信369 イベント実施委託料1,989 その他21
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	373	長野県社会教育委員連絡協議会負担金9、北信地区社会教育委員連絡協議会負担金12、自治体パートナー50、会議等出席負担金2、婦人会補助金300
その他	7,785	報酬 2,124 給料 2,350 職員手当 948 共済費 1,024 その他1,339

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,622	講師謝礼555、謝礼462、記念品代外605
10節 需用費	1,600	消耗品費560、食料費40、印刷製本費1,000
12節 委託費	2,505	委託料2,505
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	551	負担金151、補助金400
その他	9,709	報酬 2,472 給料 2,446 職員手当1,795 共済費1,194 その他1,802

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	- 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか - 行政内部の管理運営上必要な事業であるか - 市が主体となり実施すべき事業か - 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか - 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	コロナ禍が明け、誰もが気軽に楽しめ、地域の交流事業としても活用できる「ポッチャ」の審判講習会（社協と共催）を5月に行った。また、3月には公民館研究集会事業として、公民分館役員研修会を兼ねて公民分館長会と共催し、同事業を行った。 また、なぞときFUNロゲイニングを行った。 さらに、満蒙開拓平和記念館と自治体パートナーシップを締結した。	
有効性	- 事業の成果は上がっているか - 目標に対する達成度は十分か - 市民生活上の課題解決に貢献しているか - 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか - 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	誰もが気軽に楽しめるパラスポーツ「ポッチャ」の審判講習会を行えたことで、広く市民に普及していくためのきっかけとなった。 なぞときFUNロゲイニングでは、謎解きや文化体験により市内の文化を楽しく学ぶことができた。 満蒙開拓平和記念館と自治体パートナーシップを締結し、見学会を行ったことにより市民が歴史学習を深めることができた。	
効率性	- 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか - 効率性向上に努めているか - 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	常にコスト削減に努めていきたい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍が明け、誰もが気軽に楽しめるパラスポーツの普及を行ったことや、学習の場を拡大でき、今後も事業継続と新規事業に努めていきたい。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
今後も参加者が気軽に参加できる新規講座などを積極的に企画して、生涯学習の充実を図りながら満足度を高める取組を行う	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
学びを基礎とした「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」を進めるとともに、他課等との連携や市民にとって身近に必要な事業を進め、気軽に利用でき、居場所づくりとなる事業の刷新を図る必要がある	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	北澤
全体計画						経費区分	—			内線	3630	
事務事業名		15903 生涯学習センター管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100609 教育費・社会教育費・生涯学習センター費										
	事業	010000 生涯学習センター管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。生涯学習センターの施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。 施設修繕や備品等の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行い、維持管理費の長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上を図る。 また、全施設において冷暖房等使用料の実費を徴収している。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施した。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施した。照明のLED化を進め、経費削減、施設環境の整備を図った。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数					
算式						単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000
	実績			145,002		
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ					
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による利用者減を考慮					
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		25,409	28,840
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	642	963
一般財源		24,767	27,877
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.0
	会計年度(フル)	0.1	0.0
	会計年度(パート)	0.9	0.0
人 員 コスト	正規職員	1,407.4	0.0
	会計年度(フル)	358.1	0.0
	会計年度(パート)	1,592.1	0.0
	計	3,357.6	0.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.6
総額		28,766.6	28,840.0

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	6,559	消耗品費719、燃料費232、光熱水費3,713、修繕料1,873、印刷製本費22
12節 委託費	1,688	清掃業務148、電話保守64、自動扉保守47、エレベーター保守792、事務機器保守291、電気保安298、シルバー管理48
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	17,162	会計年度任用職員報酬8,799、職員手当1,790、共済費1,039、旅費377、役務費680、使用料及び賃借料4,376、原材料29、備品64、公課費8

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	6,708	消耗品費993、燃料費346、印刷製本費90、光熱水費3,999、修繕料1,280
12節 委託費	1,920	清掃業務216、電話保守64、自動扉保守53、エレベーター保守819、事務機器保守371、電気保安299、シルバー管理98
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	20,212	会計年度任用職員報酬9,513、職員手当2,952、共済費1,159、旅費395、役務費1,253、使用料及び賃借料4,421、原材料29、備品490

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	市民の生涯学習活動の拠点として施設維持に必要な整備を行う。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	冷暖房機器や照明器具等の備品・消耗品については随時更新を図り、必要な環境整備を行う。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	施設使用料については今後の施設のあり方も含めて総合的・多角的に検討していく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

1975年の全面改装以来50年近くが経過し、建物各所に老朽化による劣化が進んでいる。空調機器、トイレの更新など必要な設備については随時更新し、長く使い続けるための工夫がいつそう求められる。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
市民が気軽に利用できる公共施設として施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めるために施設維持に努める	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
生涯学習推進施設として、各世代の利用が促進でき、市民が気軽に利用でき、居場所づくりとなるよう施設管理を進める必要がある	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	杉山
全体計画							経費区分	実施計画事業費		内線	3630	
事務事業名		17683 生涯学習センター整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100609 教育費・社会教育費・生涯学習センター費										
	事業	020000 生涯学習センター整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
施設の老朽化に伴う改修等						・生涯学習センターは、今後も市民との共創や地域づくり等、地域振興の拠点施設として必要であり、維持改修を計画的に行う。 ・老朽化した照明のLED化を行い、灯具の発火抑止、電力消費量の軽減を図る。 ・西館等の工事を行い、市民の安全を守る						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
西館等解体設計業務委託	西館及び団体事務室等の取り壊しを行い、跡地に駐車場と防災倉庫を整備する

指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		0	4,444
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	4,400
	その他	0	0
一般財源		0	44
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		0.0	4,444.0

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	4,444	西館解体工事等設計業務委託料 4,444
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	1975年の大規模改修以来50年近く経過し、設備の老朽化が目立つが、市民にとって生涯学習の拠点となる施設であり、今後も必要な維持管理を行っていく。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	今後、生涯学習団体だけでなく個人の学習活動や地域住民の交流の場としても活用し、有用性の向上に努めていく。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	やや悪化
評価コメント	老朽化が進み、今後も必要な修繕・整備は増加していくことが見込まれる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

2023年度に具体的な取組はなかったが、今後西館の取り壊し・駐車場整備により、防災拠点としての機能も充実させていく。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
長年の懸案事項であった駐車場不足を解消するために老朽化している西館等を取壊して跡地に駐車場を整備するとともに避難所としての機能の充実を図る	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
建築要件や施設機能から西館等は解体し、有事の際の避難所の充実を図る必要がある	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	北澤
全体計画						経費区分	—			内線	3630	
事務事業名		4758 旧上高井郡役所管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予 算		会 計		01 一般会計								
科 目		目 録		100611 教育費・社会教育費・旧上高井郡役所費								
事 業		事 業		010000 旧上高井郡役所管理事業								
事業目的						事業概要・効果						
文化財としての保存と、歴史的建造物としての特性を活かしながら、多くの市民の方に親しまれる施設として活用できるように適切な維持管理を行う。						歴史的建造物（市指定有形文化財）である旧上高井郡役所を、市民の交流施設として活用する。 また、文書館が保管収集している古文書の公開、更には蔵の町並みキャンパスの拠点として利用される当施設の維持管理を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。

指標名	旧上高井郡役所の延べ使用者数					
算式						単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	10,000	12,000	16,000	16,000	16,000
	実績			17,049		
指標選定の理由	近年値を参考に設定した。 参考 平成29年度15,952人、平成30年18,886人、2019年度 17,368人、2020年度 9,260人					
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		10,026	12,458
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,364	900
一般財源		8,662	11,558
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,769.0	0.0
	計	1,769.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,795.0	12,458.0

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,989	消耗品費162、燃料費206、光熱水費1,019、修繕料602
12節 委託費	4,800	害虫駆除業務委託278、日直業務委託4,485、除草等業務委託37
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,237	会計年度任用職員報酬2,004、職員手当等408、共済費406、旅費26、役務費215、使用料及び賃借料178

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,028	消耗品費222、燃料費157、光熱水費1,109、修繕料540
12節 委託費	6,325	日直業務委5,327、除草等業務委託100、害虫駆除業務委託761、樹木剪定伐採等業務委託137
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,105	会計年度任用職員報酬2,202、職員手当等757、共済費474、旅費27、役務費224、使用料及び賃借料181、備品購入費240

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	市の指定文化財の有効活用として多目的な用途で市民に活用していただいている。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	社会教育・生涯学習以外にも活用できる施設として広く活用されている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	悪化
評価コメント	県築年数の古い木造建築であり、雨漏り・シロアリなど、今後も修繕の増加が見込まれる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

様々な用途に活用できる貸館施設として広く市民に親しまれている。一方、経年劣化が激しく今後の維持管理に多大なコストと労力が見込まれる。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント	
歴史的建造物（市指定有形文化財）である旧上高井郡役所を、市民の交流施設として活用しているが、老朽化により施設維持が難しいことから文化財としての担当課の所管替をしていきたい	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
2次評価コメント	
市民の貴重な財産としての文書を保存活用する施設や公民館の活用方法の見直しを含め、管理方法等について検討する	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 6 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	杉山
全体計画						経費区分	—			内線	3630	
事務事業名		17684 旧上高井郡役所整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100611 教育費・社会教育費・旧上高井郡役所費										
	事業	020000 旧上高井郡役所整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
施設の老朽化に伴う改修等						文化財である旧上高井郡役所の保存に伴い、市民の交流の場として今後も活用するため、維持改修を計画的に行う。 ・老朽化した照明のLED化を行い、灯具の発火抑止、電力消費量の軽減を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
照明器具のLED化	

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 5年度 決 算	令和 6年度 予 算
事業費		0	5,967
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	5,300
	その他	0	0
一般財源		0	667
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		0.0	5,967.0

(単位：千円)

令和 5年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 6年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	567	L E D 化工事設計業務委託料567
14節 工事請負費	5,400	L E D 化工事費5,400
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	社会教育や生涯学習以外にも幅広い用途に使用できる施設として活用されている。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	市の指定文化財を貸館として幅広い用途に供しており、文化財の有効活用方法と考える。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	悪化
評価コメント	古い木造建築であり、今後の維持管理には多大なコストと労力が見込まれる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

2024年度に照明器具のL E D 化工事を行い、環境負荷と電気料の削減を図る。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント	
文化財である旧上高井郡役所の保存に伴い、市民の交流の場としても活用するために老朽化した照明のLED化を行い電力消費量の軽減を図る	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
2次評価コメント	
市民の貴重な財産としての文書を保存活用する施設や公民館の活用方法の見直しを含め、管理方法等について検討する	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	